

文学サブプログラム

専門基礎科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBBA301	英語文献講読	2	1.0	1	春AB	火5	吉原 ゆかり, ヘーゼルハウス, ヘラト	学術的英語能力を養成するために、英語文献の読解方法、英語による調査方法の方法などの演習を行う。	使用言語は、英語及び日本語。 対面

専門科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBBAE11	文学論文演習(1A)	2	2.0	1	春ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 吉原 ゆかり, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、テーマ設定等、主として最初段階の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	02DSB01と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE12	文学論文演習(1B)	2	2.0	1	秋ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、研究資料の選択等、主として初期段階の研究方法についての議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	02DSB02と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE13	文学論文演習(2A)	2	2.0	2	春ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 吉原 ゆかり, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、資料蒐集等、主として中期段階前半の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	02DSB03と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE14	文学論文演習(2B)	2	2.0	2	秋ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、資料読解・分析等、主として中期段階後半の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	02DSB04と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE15	文学論文演習(3A)	2	2.0	3	春ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域・他研究領域の両方の立場から、論文の構成等、主として後段階の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	02DSB05と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE16	文学論文演習(3B)	2	2.0	3	秋ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域・他研究領域の両方の立場から、総合的に博士論文の完成に向けた議論を行う。	02DSB06と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
OBBAE51	海外研究プロジェクト実習(1)	3	1.0	1 - 3	通年	応談	加藤 百合	文学に関する博士論文を執筆する過程において、その研究成果の一部をもって海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野ならびに共同研究のパートナーシップを獲得することを目的とする。	履修にあたっては、事前に指導教員と相談のうえ、研究計画書(書式任意)を提出すること。 G科目、対面。オンライン(同時双方向型)

OBBAE52	海外研究プロジェクト 実習(2)	3	1.0	1 - 3	通年	応談	加藤 百合	文学に関する博士論文を執筆する過程において、その研究成果の一部をもって海外における学会発表や海外研究機関での共同研究などを行うことで、研究における国際的視野を獲得し、国際的発信力を身につけることを目的とする。	履修にあたっては、事前に指導教員と相談のうえ、研究計画書(書式任意)を提出すること。 G科目: 対面、オンライン(同時双方向型)
OBBAE53	海外研究プロジェクト 実習(3)	3	1.0	1 - 3	通年	応談	加藤 百合	文学に関する博士論文を執筆する過程において、その研究成果をもって海外における学会発表や海外研究機関での共同研究などを行うことで、研究における国際的視野を獲得し、研究のより高度な国際的発信力を身につけることを目的とする。	履修にあたっては、事前に指導教員と相談のうえ、研究計画書(書式任意)を提出すること。 G科目: 対面、オンライン(同時双方向型)